



参加者 40 人で車体をキレイに！



📷 ブラシを手に S L 清掃

8月25日 「敦賀・鉄道と港」歴史研修会

機関車公園の愛称で親しまれている本町第3公園で「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会主催の歴史研修会が行われました。同公園のSL (C58) を囲んで、国鉄OBで当時機関士としてSLに乗っていた前田利行さんが実際に小浜線を走っていた当時の状況などを紹介。その後SLの美しい車体を後世に残そうと清掃奉仕作業が行われ、市民やJR西日本の職員など40人が参加し、デッキブラシなどで車体を磨きました。

白熱したレースが繰り広げられました



📷 手作りいかだで水島へ

8月20日 西浦小中学校いかだレース

今年も西浦小中学校の「いかだレース」が行われました。今年では中学生2チーム、教員1チームに加え、20回記念としてOBチームも参加し全6チームが出場。夏休み中に製作した手作りのいかだに乗って学校前の海岸をスタート。800m先の水島を目指し、チーム一丸となってオールを漕ぎ順位を競いました。優勝したのは1・2年生チーム「西浦FOUR」の4人。チームのキャプテンの濱上和也さんは「みんなの絆でいつも以上の力が出せた」と喜びを語ってくれました。

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。〈秘書広報課 ☎22-8112〉

敦賀の夏の風物詩



とろろに想いをこめて

迫力あるフィナーレ

📷 「た〜まや〜!!」

8月16日 第63回とろろ流しと大花火大会

第63回とろろ流しと大花火大会が松原海岸で行われました。とろろの優しい灯りが海いっぱいに広がる中、「敦賀・大いなる旅路〜それは想像を超える感動体験〜」をテーマに、パラシュート花火や全国の花火職人が作る芸術花火などが夜空を彩りました。フィナーレでは20号玉花火や地割れ花火が炸裂し、集まった約21万5千人の観客から大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

(上) 練習の成果を発揮する参加者 (下) 50回を記念した横断幕



📷 祝 50 回目の操法大会

8月5日 敦賀地区自衛消防隊操法大会

古田川の公設地方卸売市場で敦賀地区自衛消防隊操法大会が行われました。今大会には各区と事業所から88隊450人が参加。消火栓の部・小型動力ポンプの部・屋内消火栓の部の3競技に分かれ、素早く正確な消防動作を競い合いました。また、今年には50回の記念大会ということで、50回連続出場の日と事業者の特別表彰や女性消防団員による記念宣言などが行われました。

こんにちは！
안녕하세요!
金香美です。
김향미입니다.

姉妹都市、韓国東海市から
研修公務員として来敦中！



私が見た敦賀

敦賀市は東海市よりも人口は少ないですが、街の雰囲気は似ています。美しい自然と多くの文化財に歴史的な伝統を感じました。それらを大事にしていることも印象的です。

市内中心部の住宅地のそばに田んぼがあるのも珍しかったです。市内に川が流れていて、二夜の川には鯉がたくさん泳いでいることも驚きました。東海市は中心部に川がないので、街中で農業をするのは難しいのです。

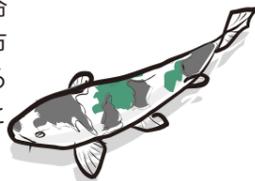
敦賀市は非常に静かで綺麗な街ですが、市民の憩いの空間が東海市より少ないように感じました。東海市は、夕食後にたくさんの人々が散歩をしたり、公園で運動をしているので、雰囲気が違うと感じました。

東海市は15階〜20階建てのマンションが多

いのですが、敦賀市は一戸建ての住宅が多いと感じました。日本が地震の多い国だからでしょうか。

敦賀市に来て、3カ月がたちました。初めて来たときは、知り合いもおらず、家族と離れて生活をしたことがなかったので、寂しく感じることもありました。でも今では、日本の生活に少しずつ慣れてきました。

私はまだ日本と敦賀市について知らないことが多いので、研修期間中に日本文化の理解の幅を広げ、日本語も一生懸命勉強して、東海市と敦賀市の友好関係がさらに深まるよう、お手伝いできればと思っています。



魚を追い込んで捕まえる子どもたち



📷 いっぱいお魚捕まえた！

8月19日 川遊び体験

親子で川に親しんでもらおうと、敦賀河川漁業協同組合が「川遊び体験」を笠の川で行いました。参加した約300人の親子は、網で囲まれた川に放されたアユやニジマスのつかみ取りに挑戦。捕まえた魚は、その場で塩焼きにして味わうことができるとあって、子どもたちは全身ずぶぬれになりながら一生懸命に魚を追い込んで捕まえていました。参加した子どもは「魚はぬるぬるしていたけど上手に捕まえた」と川遊びを満喫していました。

「赤色でハートを描いたよ」焼き上がりが楽しみです



📷 喜んでくれるといいな

8月19日 敬老の日プレゼント作り

敬老の日プレゼント作りがこどもの国で行われ、24組の親子連れが湯のみに絵付けをしました。参加者は、写真を見ながら丁寧に似顔絵を描いたり、初めて使う絵の具にワクワクしながらカラフルに仕上げたりと、一生懸命にオリジナルの湯のみ作りに取り組んでいました。絵付けした湯のみは9月中旬に完成します。「おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれるといいね」と親子で声をかけながら、敬老の日を楽しみにしている様子でした。